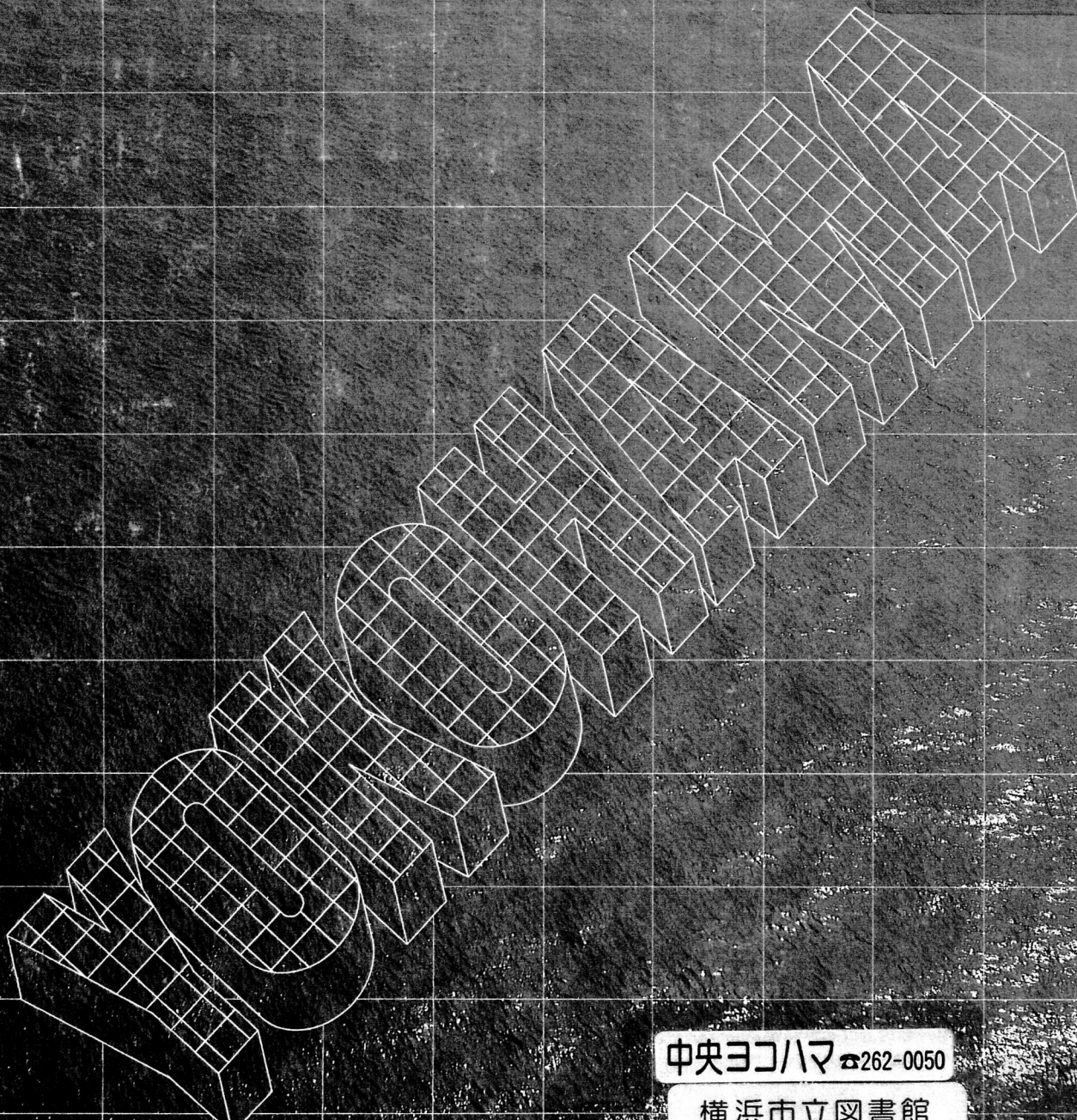
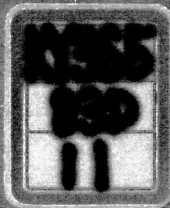


横浜はいま

市民生活白書



中央ヨコハマ ☎262-0050

横浜市立図書館



0002988097

館内

1983-1

昭和58年○横浜市

●目次

序・市民の声

「先行きが心配」「痴呆性老人」「多額な祝金」「障害者の幸せ」「市の住宅をつくって」「車道を歩く」「森を子孫のために」「都民という思い」「自分をみつめる」

8

◎第1章／よこはまの市民

1. 暮らしのよこはま市民

1. 「居住市民」

12

全国第2位の人口 居住10年以内が6割 平均年齢は32歳 多い高学歴の市民 就業率の低い女性 8割がサラリーマン 多いホワイトカラー 二つに大別される区民

2. 「昼間市民」

16

低い昼夜間人口比 就業者、市外から2割 45%は自区内から

3. 「法人市民」

18

本社が少ない横浜 中小企業が大部分 東京に本社が約4割 小売業が最も多い

4. 「外国人市民」

20

2万人の外国人市民 さしほびさまな活動組織

5. 横浜ファン

22

横浜のイメージは「好きな場所ベスト5 街の魅力や市民性は「横浜は私のいち」

2. 市民の活動

1. 居住市民の行動

㊦ 市内・市外での行動

26

●働く場・学ぶ場は市内で%、市外へ% 大半が東京・川崎へ 区による違い 長時間化する通勤・通学

●買物はどこで 最寄り品は身近で 東京へ買物に行く理由

●文化活動などは

余暇活動は家庭が中心 文化活動の半数は市外で

㊧ 地域での活動

30

自治会・町内会の活動 地域でのさしほびさまな活動 地域施設の現状

2. 事業所の活動

32

事業所の立地指向 東京指向の出張 事業展開の意欲

3. 市民の国際交流……………36

盛んなグループ交流 身近な国際会議場
求められる交流の場

3. 市民の意識・要望

1. 市民の意識……………38

●老後の生活
「老後・病氣」に不安 心配な「生活費」 同居減少を予
測

●定住意識

定住派がふえる 生活満足派に定住意向
職場は市内を望む

●市民の行動

「友人を訪問」がトップ ボランティア活動に意欲
活動参加者は女性が大半

2. 市民の要望……………44

●市長への手紙から
公園・道路が上位
●市民意識調査から
「バスの便」がトップ

◎第2章／市民生活の環境変化

1. 外的変化

国内の環境変化……………48

国際化の進展 成熟化へ向かう大都市 進む人口の定着化

2. 内的変化

1. 人口構造の変化……………50

人口ピラミッドの変化 高齢化社会が接近 六人に一人が
引越 中心部から郊外へ

2. 市民所得の変化……………52

高い一人当り市民所得 伸び悩む手取り収入 全国2位
の物価水準

3. 生活行動の変化

ア ライフスタイルの変化……………54

生活のサービシ化 新マイホーム主義の台頭
文化・健康への関心 変化する買物行動

イ 青少年問題……………58

戦後最高の補導件数 家庭内暴力など増加
複雑な背景・要因

4. 産業構造の変化……………60

比重ます第三次産業 変化の背景 まだ少ない働く場
工業構造の変化 拠点化進む商業 進むサービシ経済化
農家数の減少は鈍化

◎第3章／市民生活と市政

1. 心豊かな市民生活

1. 教育……………74

児童生徒数は今がピーク 児童・生徒の生活状況
 教育課程の改善 国際理解教育の推進
 地域に開かれた学校づくり 障害のある子どもへの教育
 生涯学習の機会の提供 国際化をめざす市大

2. 文化……………78

活発化する文化活動 区図書館などに重点
 文化基本構想の策定へ

3. 福祉……………80

●老 人 高齢化社会への対応 施設整備と在宅サ
 ービス 社会参加の促進も
 ●心身障害者 ふえる身体障害者 早期療育と社会参加
 に力点 障害者の雇用促進

5. 土地利用の変化……………64

宅地面積の伸びは鈍化 山林・農地の減少も鈍る
 拡大する住宅市街地 工業地は横ばい 郊外部に広がる
 商業地

6. 主要な生活基盤の変化

⑦交通システム……………66
 交通流動の変化 通勤交通 自動車交通

④事業所・商業集積パターン……………68

郊外部で集積が進展 中区が依然市内の中核
 変化する商業地

7. 財政構造の変化……………70

厳しい財政事情 市税の伸び悩み ふえている借金
 高い公共投資の割合 横浜は健全財政

4. 同和問題……………87

横浜市の取組み(市民・企業への啓発など)

●生活保護 ふえる保護受給者
 ●保 育 保育所建設、新たな局面に
 ●地域福祉 「福祉の風土づくり」を推進
 「私達の本当の船出」

5. 健康……………88

たらない医療施設 ふえ続けるがん死 がん検診に力こぶ
 充実した救急医療体制

6. 婦人……………90

女性をとりまく現実 現状の改善に向けて
 婦人行動計画の策定へ

7. スポーツ・レクリエーション……………92

高まる市民ニーズ 地域でのスポーツ活動の充実 ふるさと村など整備 「横浜マラソン」など開催

8. 消費生活……………94

不安の消えない消費生活 「新たなくらし」求めて 整備される「市民の台所」

2. すみよい環境

1. 街の魅力……………96

快適な環境と都市デザイン 魅力づくりのルール 生活空間の魅力づくり

2. 緑地・公園……………98

●緑地の保全 要綱など用いて保全 求められる新たな施策
●公園の整備 遅れている公園の整備 質の高い公園をめざす

3. 公害防止……………102

河川の汚れ横ばい 窒素酸化物が元凶 地盤沈下も問題に 対症療法からの脱却

4. 廃棄物……………104

収集輸送体制の充実 処分場の確保が悩み ごみの資源化・減量化

5. 上水道……………106

一人当たり四〇三リットル 災害時の水は、漸増する水需要

6. 下水道……………108

32年から本格的整備 5年連続、巨費を投入 水洗化普及率51%に 建設費の確保が課題

7. 住宅……………110

マイホームづくり 「住みかえ」と「住みやすさ」 多様な施策展開を

8. 防災……………112

水害に弱い横浜 総合治水対策を推進 地震災害を防ぐために 災害時の避難と備蓄

9. 消防……………114

火災は一日三・五件 8分消防体制の整備 定着する地域防災活動

10. 身近な交通……………116

交通事故から市民を守る 道路をより市民の身近に「市民の足」をより便利に

3. さわやかな地域社会

1. 地域施設……………118

年に2、3館ペースで建設(地区センター) 各区1館を目標に整備(図書館) 着実にふえてきた利用者(学校開放)

2. 市民参加……………120

多様な参加の方式 区民会議の具体的成果 画期的な反映システム 情報公開制度の検討も

3. さわやか運動……………122

4月と10月が強調月間 各地で新しい動きも 8割が定期清掃を実施

4. 区役所のしごと……………124
 横浜市の行政区の姿 市民と区役所のかかわり 区役所機能の充実 特性を生かした街に

4. いざなぎとした都市

1. 交通網の整備……………126
 鉄道網の整備 道路網の整備

2. 街づくり……………128
 都心や地域拠点の整備 「みなとみらい21」を推進 新しい街をつくる

3. 港湾の振興……………130
 進展するコンテナ化 港湾施設など充実 水際線の市民利用

4. 経済の振興……………132
 工業の再生をめざして 活性化を図る地域の商業 地域経済を支える中小企業 市民と結びついた都市農業

5. 観光イベント……………135
 多様化するイベント 多彩な振興策が必要

6. 土地利用……………136
 既成市街地内部の土地利用 臨海部の土地利用 郊外市街地の土地利用 自然的土地利用

7. 接収解除……………140
 市民生活への影響 接収解除のための努力 早期全面返還に向けて

5. 幅広い国際交流

1. 国際交流……………142
 国際性を求める背景 都市間の相互理解が基盤 YLAPの開催も

2. 経済・技術交流……………146
 上海で横浜工業展覧会 アジアとの経済交流会議 技術交流・技術協力を促進

◎第4章／あすの横浜のために

1. 市民の主体性と連帯

1. 地域連帯……………150
 地域における新しい動き 新たな地域社会づくりのボランティア活動 活動の場づくりと運営 地域で

2. 市民の一体感……………153

横浜の市民意識は 市域の一体性の確立 求められる新たな魅力

3. 市民の共生……………155

●ハンディキャップのある人たちと地域社会

障害者を地域のなかで 人間としての障害者

●外国人市民と市民

多い永住型外国人市民 身近な交流が大事

●法人市民と市民

企業の市民意識 企業と市民の新しいつながり

4. 市民参加……………160

話しあいのテーブル 区民会議の充実 問題はないのか
街づくりと市民参加

2. 豊かな市民生活の実現

1. 身近な行政サービス……………162

期待される区役所 大部分が委任事務 機能分担の明確化

2. 市民文化の環境づくり……………164

市民文化創造の担い手 都市空間における文化性

3. 街づくりでの役割分担……………166

かけがえない都市空間 市民と市が一体になって 個性と
魅力あふれる街に

4. 行政サービスと負担……………168

流動するサービス領域 行政サービスも多様化 いくつかの
視点

3. 横浜の活力の創造

1. 横浜の活力……………170

横浜は大都市か? 横浜の新たな活力

2. 地域経済の役割……………172

市内での就業の場の確保 都心・副都心の整備 横浜経
済の活性化 これからの産業 首都圏機能の分担

3. 都市の主体性の確立……………176

都市の経営 新たな豊かさを求めて 効率的な行政運
営 自主的に使える財源 市町村の時代の確立

主要な統計資料……………	182
年表・横浜の歩み……………	187

●横浜はいま

市民生活白書 昭和五八年

昭和58年3月発行

編集・発行 横浜市企画財政局

横浜市中央区港町一丁目一番地(〒231)

電話(045)6712026・2027

印刷 山陽印刷株式会社

装丁・デザイン 株式会社光洋社

表紙・扉写真 天野裕之／森日出夫

七〇〇円

横浜市中央図書館

1983-8